



2023年8月8日

各 位

会社名 三井金属鉱業株式会社
代表者名 代表取締役社長 納 武士
(コード番号: 5706 東証プライム)
お問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長
落合 健司
(TEL. 03-5437-8028)

第2四半期(累計)および通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2023年5月10日に公表した第2四半期(累計)および通期業績予想について、下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 第2四半期(累計)業績予想の修正について

第2四半期(累計)業績予想の修正(2023年4月1日~2023年9月30日) (金額単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	310,000	2,000	2,000	△1,500	△26.26
今回修正予想(B)	295,000	△4,000	4,000	△500	△8.75
増減額(B-A)	△15,000	△6,000	2,000	1,000	
増減率(%)	△4.8	-	100.0	-	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期第2四半期)	342,398	23,296	34,015	27,927	488.88

2. 通期業績予想の修正について

通期業績予想の修正(2023年4月1日~2024年3月31日) (金額単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	645,000	20,000	20,000	10,000	175.04
今回修正予想(B)	605,000	11,000	20,000	9,500	166.27
増減額(B-A)	△40,000	△9,000	0	△500	
増減率(%)	△6.2	△45.0	0.0	△5.0	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	651,965	12,528	19,886	8,511	148.99

3. 修正の理由

(第2四半期(累計)業績予想について)

5月10日公表の業績予想に対し、亜鉛などの金属価格およびパラジウム、ロジウムなどの貴金属価格が下回って推移していることから、売上高は減少する見込みです。

営業利益につきましては、エネルギーコスト減少やモビリティセグメントの主要製品である排ガス浄化用触媒の販売量増加など好転要因はあるものの、金属価格や貴金属価格が下回って推移していることおよびそれに伴う在庫要因などの悪化が大きく、第2四半期(累計)では営業損失を見込んでおります。

経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、営業利益同様の減益要因があるものの、6月29日に開示しました「営業外収益(受取配当金)の計上に関するお知らせ」の通り、日韓共同製錬株式会社からの受取配当金66億円の計上および円安に伴う営業外為替差益の好転により、増加する見込みです。

(通期業績予想について)

上記(第2四半期(累計)業績予想について)の要因に加えて、5月10日公表の業績予想に対し、機能材料セグメントの下期販売量減少などを見込むことから売上高および営業利益は下回る見込み、経常利益は前回予想通りの見込みとなります。また、特別損失の増加により親会社株主に帰属する当期純利益は下回る見込みです。

(ご参考) 為替および金属価格前提

	前回予想 通期	今回予想 4-6月実績	今回予想 7-3月予想
為替 (円/US\$)	130.0	137.4	140.0
亜鉛LME (\$/t)	3,000	2,540	2,400
鉛LME (\$/t)	2,100	2,118	2,100
銅LME (¢/lb)	400	385	370
銅LME (\$/t)	8,818	8,478	8,157
パラジウム (\$/toz)	1,500	1,449	1,300
ロジウム (\$/toz)	8,000	7,039	4,000

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上